

Rotary

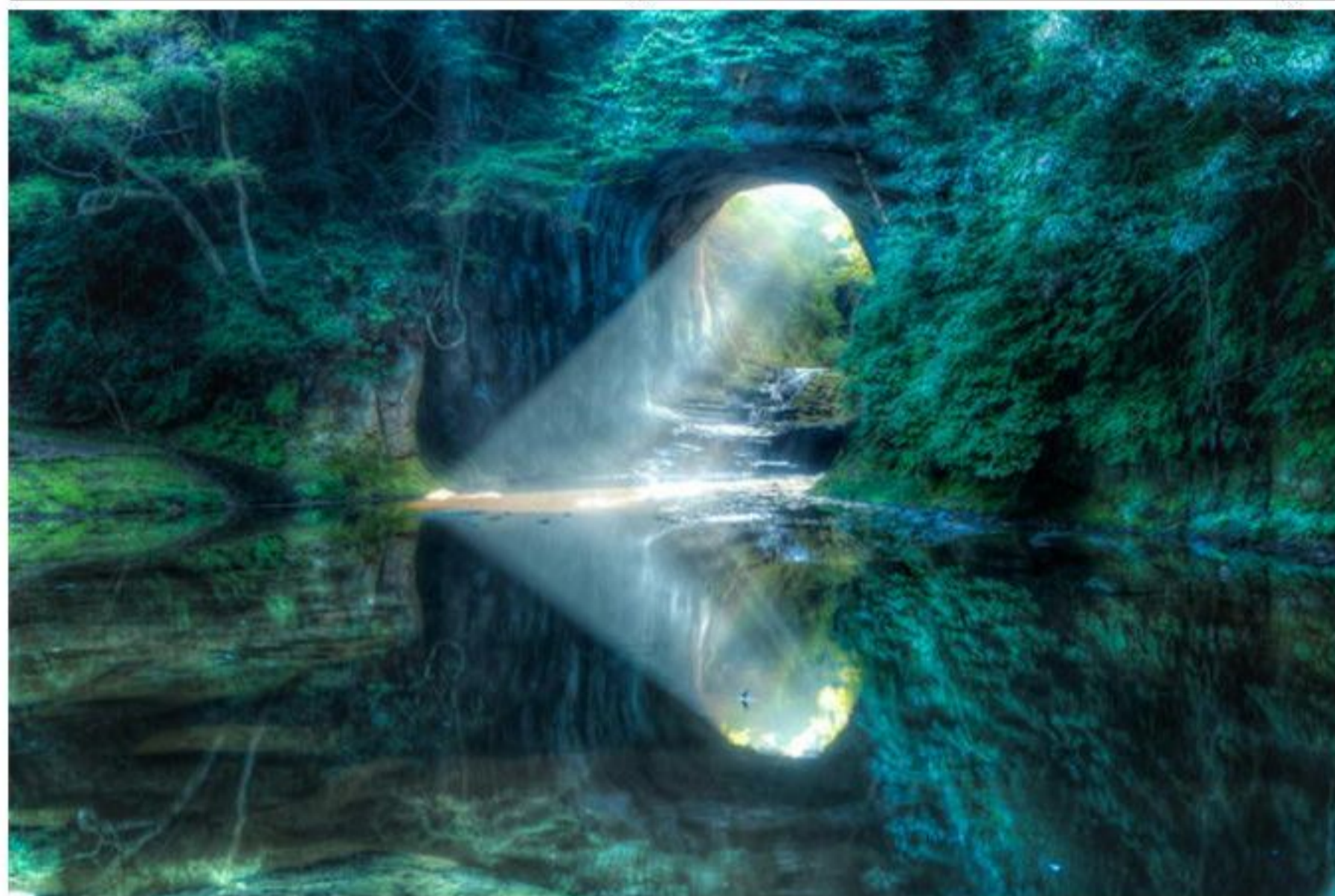


2022-23年度 国際ロータリーテーマ
『大きな夢をかなえたロータリーを想像して』
IMAGINE ROTARY



2022-23 RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
RI 2820地区ガバナー 大野 治夫

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2175号 2023年6月15日発行
ロータリー親睦月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
 加盟：1978年4月14日
 例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
 〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
 電話 0479(48)0333

例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分

○会 長	安 藤 寿 博
○会長ニレト兼副会長	篠 塚 茂 男
○幹 事	金 子 大 作
○副 幹 事	遠 藤 貴 之

第2174(41回) 例会報告

令和5年6月8日(木)晴れ

進行：後藤SAA

本日のお客様：なし

◇ 会長あいさつ安藤(寿) 会長

今月は17日に地区会長・幹事会、21日に第8分区の会長幹事会があります。今年度も終盤に入りました。1年を通して重要なのは、やはりロータリーに対して、興味を持って楽しんでいただける会員の加入が1番だと思っています。今年度は藤代さんに新たに入会いただきましたが、次年度も引き続き、ともに行動できる方の新規加入いただけるよう皆さんで取り組んでいきましょう。



◇ 幹事報告金子幹事

1. 5クラブ親睦ゴルフコンペの件

日時 7月19日(水) 8:30集合

場所 鹿島の杜カントリークラブ

会費 5,000円



◇ 委員会報告

○ 次年度会長篠塚会長エレクト

RLIの参加は今回で2度目になります、1時間のグループディスカッションを6回昼食をはさんで行います、6回のグループは全て別人で構成されて、毎回緊張感の中を意見交換を行い、お互いに他のクラブの事業内容を知る事が出来ます。

公共イメージの話が出た時に、波崎RCは3週間前に実施した、朝市の話をしたところ多くの方から質問を受けました、他のクラブが実施していない分野の、事業であった為と思いました、地域との接点には良い事業だとの意見も頂きました。

私達のクラブの弱い所は、勉強会を実施していないで、なんでも適当になってしまっているところが問題で新しい会員に対して、オリエンテーションを実施し、ロータリーの会員として、内容の伴った活動が出来る様に、務める必要性を実感しました。



◇ 年度末委員会報告

○ プログラム委員会篠塚委員長

事業方針に基づいた計画をもとに、入会可能な卓話者による例会の開催と、外部から招聘した方々からの卓話を実施する事ができた。

親睦委員会と連携して、夜例会も5回開催し、卓話された入会见込の方を、夜例会に招待して親睦を深め、新会員への道筋に貢献できたと思う。

楽しい例会にするには、会員が増えて例会場の雰囲気や、賑わいも重要に思う、全ての委員会が増強にリンクした事業について、考える必要があると思います。

- 職業奉仕委員会 ……………篠塚委員長
3年ぶりに復活した「朝市」が実施されました、委員会として朝市実行委員会に参加して出店者へのアプローチを行い、16の地域商店が、自店の商品を陳列して大勢の人で賑わいロータリークラブとして、地域への公共イメージアップになりました。

職場訪問については「茨城木工株式会社」に訪問して、新感覚で製造する室外用のサウナの製造工程や需要等についてお話しを頂き、これからのビジネスのあり方について、勉強になりました。



- 倶楽部奉仕①委員会 ……………西條（健）委員長
事業計画の奉仕活動への参加もできませんでしたし、会員増強2名以上も達成できませんでした。



- 親睦委員会 ……………西條（健）委員長
事業として12月のクリスマス会を行った事と、9月にマリンスタジアムにプロ野球観戦に行きました。参加した皆様に喜んで頂いたことがうれしかったです。ありがとうございました。

- 米山記念奨学会 ……………西條（健）委員長
会員の皆様より寄付金を集めることが出来ました。

- 社会奉仕委員会 ……………高橋委員長
5月までコロナ禍により、毎年参加していたきらっせ祭り、かみすフェスタ、交通安全キャンペーンが中止になりました。

暗い話題ばかりのなか、5月21日に社会奉仕委員会が中心となり「ロータリー朝市」を開催することができました。青少年奉仕委員会・職業奉仕委員会から実行委員会をつくり、地元団体、事業者にご出店いただき、多くの方々にお越しいただきました。新聞やインターネットに掲載いただいたことで地域活性化・ロータリー公共イメージアップに繋がったのではないかと考えております。地区補助金事業として今年は開催させていただきましたが、次年度以降も年に2回(5月、10月頃)開催していき、より多くの方々を巻き込み、地元根付く活動にしていきたいです。



- 国際奉仕委員会 ……………後藤委員長
 コロナ禍で計画が立てずらいなか、カンボジア支援について連絡を取るためメールを入れましても返事がきません。再度この作業は続けていきます。



来年度はサイパンへの高校生受け入れのため視察を考えながら、カンボジアとの連絡に努力します。

- 青少年奉仕委員会 ……………泉委員長
 コロナ禍の影響もあり、様々なイベントが中止、規制される中、当クラブ後援の継続事業である少年フットサル大会を実施いたしました。



- R財団委員会 ……………金子委員長
 今年度も年次寄付150ドル、ポリオ30ドルの寄付を行いました。



次年度も地区補助金の申請をしておりますので、ご協力をお願い致します。

◇ ロータリー行動計画 - 大規模プログラム補助金

ロータリー会員がより大きなインパクトをもたらす優れた方法となるのが、「大規模プログラム補助金」です。この数百万ドルのイニシアチブは、ロータリー会員の能力、専門知識、熱意を最大限に生かしながら、優れたパートナーを惹きつける大規模で大きなインパクトのあるプログラムに資金を提供します。最初の受領プログラム「Partners for a Malaria-Free Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー)」では、医療サービスの行き届きにくい地域の人びとがより迅速に治療を受けられるよう、既に2,500人のコミュニティ・ヘルスワーカーを研修しています。

しかし、ロータリー行動計画の「より大きなインパクトをもたらす」という優先事項を実現するには、大規模プログラム補助金を申請するかどうかにかかわらず、プロジェクトを立案する際に「規模」について考えることが重要です。

プロジェクト拡大の可能性についてよりよく理解できるよう、社会変革の分野における二人のエキスパートにお話を伺いました。国際開発コンサルタントであるロータリー会員、ラリー・クーリーさんと、Lever for ChangeのCEOでマッカーサー基金のシニアアドバイザーであるセシリア・コンラッドさんです。コンラッドさんは、1億米ドルの助成金「100&Change」の創設に貢献しました。

Q：活動の規模を拡大するという点で、ロータリーにはどのような強みがありますか。

コンラッド：ロータリーほど素晴らしいネットワークをもつ団体はないと思います。これは、潜在的パートナーが重視する点です。どの財団や基金も現地の知識や社会的資本（人脈やネットワークなど）を常に探していますが、現地で適切な人材、つまり現地で物事を進めることのできる人材を見つけることは必ずしも簡単ではありません。

ロータリー会員は企業や市民のリーダーとして地域社会で役割を担っており、ネットワークを構築し、互いに学び、グローバルな問題に対処できる大きな可能性を秘めています。

クーリー：大きな問題を解決するには、地域社会の従来の縦割り構造を超えて、地域社会に一体となって参加してもらう必要があります。保健の専門家だけでは保健問題に対処できませんし、エンジニアは設計や構築ができてマーケティングや社会的コミュニケーションの専門家であるとは限りません。また、変化には信頼が必要です。ロータリー会員は、地域社会でさまざまな職業的・文化的な経験を持つ信頼できる非政治的なリーダーであり、ロータリークラブはいたるところにあります。ロータリーほどの強みと影響範囲をもつ組織はほかにありません。

Q：ローカルかグローバルかにかかわらず、ロータリー会員がプロジェクト拡大を成功させるには、どのような新しい考え方が必要ですか。

クーリー：ロータリーでの主な活動がどのように実現するのかについて多くのロータリアンと話してきましたが、ほぼすべてのケースに共通するのは、大きなイニシアチブは起業家精神のあるロータリアンまたはローターアクターから始まるということです。これらの人は、仲間に働きかけ、最終的には大勢の人を動員して問題やニーズに取り組みます。大きな規模で活動するには、やはりこうした活動が不可欠です。しかし、ロータリーと会員が介入することで、より大きなスケールで考え、計画し、行動できる可能性のある取り組みもあります。

クラブは常に基盤であり、不可欠な構成要素である一方で、ロータリーには巨大なネットワークがあり、多くの重要な問題に対するソリューションの規模を拡大するために会員やクラブのつながりを活かせる可能性があります。例として、ポリオ根絶活動の場合、クラブと地区が深く関与していますが、取り組みの拡大を支える組織的インフラも大きな力となっています。ポリオが世界からなくなろうとしている現状を見れば、そのインパクトは明らかです。これは良い例ですが、現時点ではまだ稀なケースです。問うべきは、いかにしてそのような例を増やしていくかということです。

コンラッド：ロータリー平和フェロシッププログラムは大きな財産だと思います。私がロータリーの活動について知ったのも、このプログラムを通じてでした。ロータリー平和フェローは、クラブ間の情報交換やつながりを強化する重要な橋渡し役となることができます。また、ロータリー行動グループ、ロータリー親睦活動グループ、国際共同委員会のほか、共通の目的と目標を掲げる地元団体とのパートナーシップなど、ロータリーには、前向きな変化に取り組んでいる現地の熱心な支援者・グループがあります。しかし、変革に取り組むこれらの支援者がより大きなネットワークとして共に活動できるよう、どのように支援し、リソースを提供できるでしょうか。拡大を重視する理由は、ここにあります。これは金額の問題というより、より多くの場所でより多くの人を支援することを意味します。というのも、ロータリーではそのネットワークと活動が効果を発揮しているからです。

クーリー：もちろん、ロータリーのすべての活動に拡大が必要なわけではありません。地域社会には差し迫った多くのニーズがあり、クラブの短期的なプロジェクトを犠牲にして拡大を行うべきではありません。私の場合、父、祖父、そして兄もロータリアンであり、地域社会で人びとが協力する必要性をこの目で見てきました。例えば、車椅子が必要な子どもや食事が必要な家族を支援したり、図書館に新しい読書室を作ることなどです。ウガンダ、グアテマラ、インドといった国でも、クラブが素晴らしいプロジェクトを実施しています。これらのプロジェクトは、世界に多くのよいことをもたらし、深い充実感を与えてくれます。しかし、ロータリー特有の強み、すなわち「より大きな問題を解決するために協力できる」という点を棚上げしています。

ロータリークラブHPより

◇ 出席報告 菅谷出席委員長

項目 例会	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
			出席	メイク	
第1例会	13会員	13会員	出席: 10	メイク: 0	76.93%
第2例会	13会員	13会員	出席: 9	メイク: 6	115.39%
第3例会	13会員	13会員	出席:	メイク:	
第4例会	13会員	13会員	出席:	メイク:	
第5例会	13会員	13会員	出席:	メイク:	
6月度平均					

6月度出席表 出席:○ 欠席:/ M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	1日	8日	15日	22日	29日	出席数	M数	会員名	1日	8日	15日	22日	29日	出席数	M数
安藤 信一	/	/													
安藤 寿博	○	○M1													
泉 純一郎	○	○M1													
遠藤 貴之	○	/													
金子 大作	○	○M1													
後藤美紀代	○	○													
才賀 秀樹	/	○													
西條 健一	○	○													
西條 昌良	/	/													
篠塚 茂男	○	○M2													
菅谷 昭夫	○	/													
高橋 佑至	○	○M1													
藤代 広樹	○	○													

メイクアップ 6/1 朝市実行委員会(商工会波崎支所)高橋、泉、篠塚、安藤(寿)、金子会員

6/4 地区RLI研修会(水戸・智学館中等教育学校)篠塚会員

◇ ニコニコBOX報告 西條(健)親睦委員長

ニコニコBOX	0円
コインBOX	870円
ビジター(0件)	0円
合計	870円

ニコニコBOX	
1週	16,000円
2週	0円
3週	円
4週	円
5週	休会
月計	16,000円
累計	339,000円

コインBOX	
1週	1,150円
2週	870円
3週	円
4週	円
5週	休会
月計	2,020円
累計	32,820円

6月の予定 22日 会長・幹事報告

29日 休会